

公益活動報告書(市民活動実績報告書)(令和6年度)

(宛先)岡崎市長

令和7年 月 日

団体名 NPO法人岡崎市市民活動推進センター

代表者 三上 昌樹

構成員 5人(※令和7年4月1日時点の構成員数)

団体の目的: 団体の会則・規約に定められた団体の目的を記入してください。

この法人は地域の学校・市民・企業・行政・各種団体と協力して、若者が企業などに修行し、職業を得て住み着き、その地域で子どもを育てたくなる地域づくりを進める。他地域にとっての先進事例となる幼年期から若手社会人になるまでの多面的なキャリア教育事業を確立し、社会全体の利益の増進に寄与することを目的とする。

私達の団体が掲げる目的を実現した活動を、以下の項目に従って報告します。

なお、記載内容を一般に公開することに同意します。

■1 団体の活動目的達成に向けて、今年度はどのような活動をしましたか。(公益活動に限る)

活動日 又は期間	場所	公益を受けた ものは?	受益者 (会員以外) 人数※1	活動内容
6月29日 ～ 8月25日	岡崎市内	高校生 大学生 社会人	30人	愛知アクティブアワード プレゼンテーションを行う
8月12	やはおらん	小学生 高校生 入学生	80人	おやばきスーパースクール

※1 公益を受けたものが「人」ではない、数が把握できない場合は記載がなくてもよい。＜ex.自然環境＞

■2 前項1に基づき、1年間の団体活動で岡崎市(広く市民社会一般)に何をもたらしましたか。

若者教育、若者の社会参画、地産地消のプロジェクト

■3 今年度の活動の公益性を自己評価し、付随する質問にお答えください。

①公益性の度合いを自己評価してください(数字に○をつけてください)

高い ← 5 4 3 2 1 → 低い

②上記の評価をした理由をお書きください。

人生が変わった、社会に出た若者たちが岡崎へ戻る循環が生まれた

裏面の自己診断チェックリストもご記入ください。